

「信州発・これからの図書館フォーラム」

～地域の読書環境をもっと豊かに～

《 1 「諏訪モデル」の意義 》

(1) 諏訪広域図書館情報ネットワークシステム「すわズラ～」 (平成7・12年～)

- ① 諏訪地方7公共図書館の100万冊を超える蔵書が借りられる。
- ② インターネット予約で、翌日には他の図書館から本が手元に届く。
(他の行政事務の物流に図書資料を含めた運送体制)

(2) 「諏訪モデル」導入の課題

- ① 地域性 : 地理的条件、書店組合支部の状況
- ② 納期 : 新刊本の速納体制
- ③ 装備の質と量 : 福祉作業所ほかによる質と量の確保
- ④ システム改修 : 図書館情報システムの改修費用負担

(3) 「諏訪モデル」導入の意義

- ① 地域経済の活性化 ② 地域福祉の推進 ③ 読書文化の継承と発展

(4) 読書文化の継承と発展

- ① 製糸業・精密機械産業から生まれ培われた岡谷市独自の読書文化
- ② 「地元書店からの直接納入を地元還元につなげる」
 - ・ 貴重な地域資料を含め、利用者のニーズに合わせた選書
 - ・ 諏訪地方共同システムを運用する中での岡谷図書館の特徴づけ
 - ・ 図書資料費予算の効率的な執行

《 2 その他書店連携 》

(1) 笠原書店創業100周年記念事業

- ① 記念講演会をPRするパネルの作成展示
- ② 講師に関連する本の展示



記念講演を
PRする
パネル展示



(2) 見計らいによる選書

- ① 岡谷図書館での見計らい (毎年4月)
 - ・ 岡谷図書館及び3地区公民館図書室の事務員対象
- ② テクノプラザおかや(岡谷駅前)での見計らい (毎年5月) :
 - ・ 諏訪、上伊那、木曽、塩尻地域を対象

駅前施設での広域対象の見計い

《 3 新たな書店連携の模索 》

(1) 店頭での選書

- ① 職員が店舗に出向き実物を見ての選書
- ② 古書など貴重な地域資料の発掘と購入



店頭での
実物による
選書



地元書店との打ち合わせ

(2) 出版社による蔵書点検

- ① 専門書など蔵書リストを基に、技術革新や法律改正等により除籍できる図書の点検を行う。(7月業者打合せ予定)

返却ブックポスト

(3) 貸出返却本の取次

- ① 県外に実施事例あり
 - ・夜間閉館後の受け取り
 - ・店舗との相乗効果

岡谷図書館カウンター



《 4 その他事業者等との連携 》

(1) 映画館・フィルムコミッション



旧市庁舎で撮影
された
「ゴジラー1.0」

絵本の原画展
に合わせた作
品の展示

(2) イルフ童画館・美術考古館

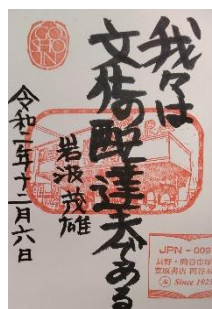


《 5 おわりに 》

岡谷市独自の伝統的な読書文化を継承し守り発展させます。そのために、より多くの市民に読書を広め根づかせ、潤いのある生活と豊かな人生を送れるよう地域の活性化を図ります。あらゆる人と情報が交わり“まちづくりの拠点”となる図書館を書店と連携してめざします。



“日本図書館協会建築賞”の岡谷図書館



御書印



“創業 100 周年”の笠原書店